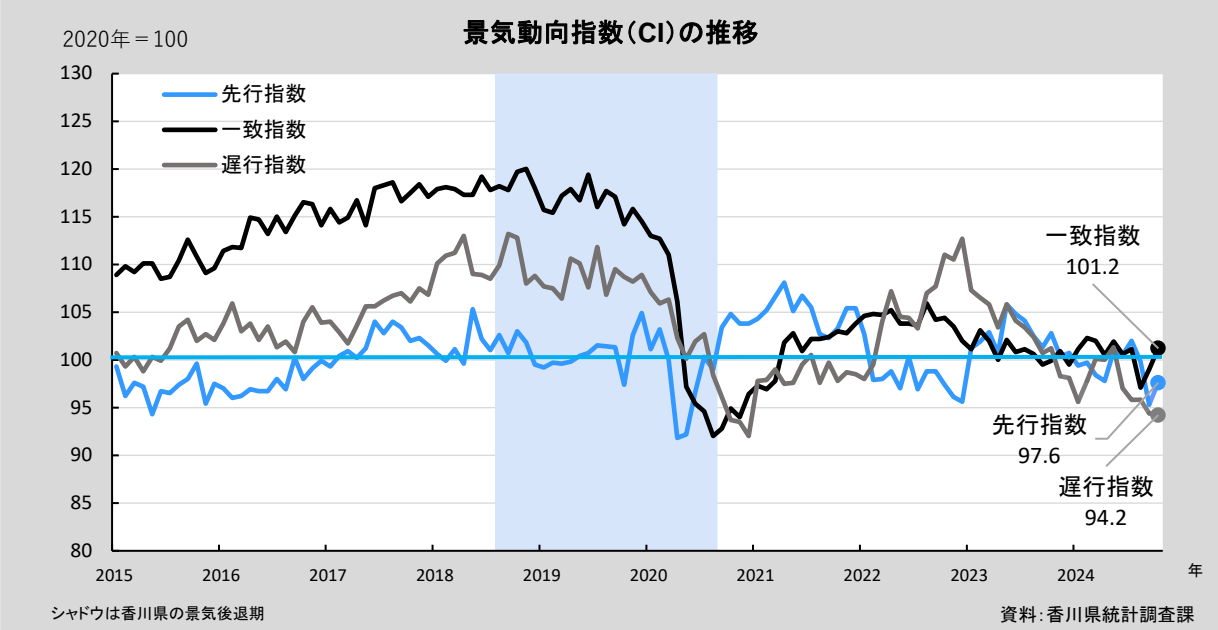


概況	緩やかに持ち直している。
個人消費	堅調に推移している。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直している。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出は増加、輸入は減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 2カ月連続上昇



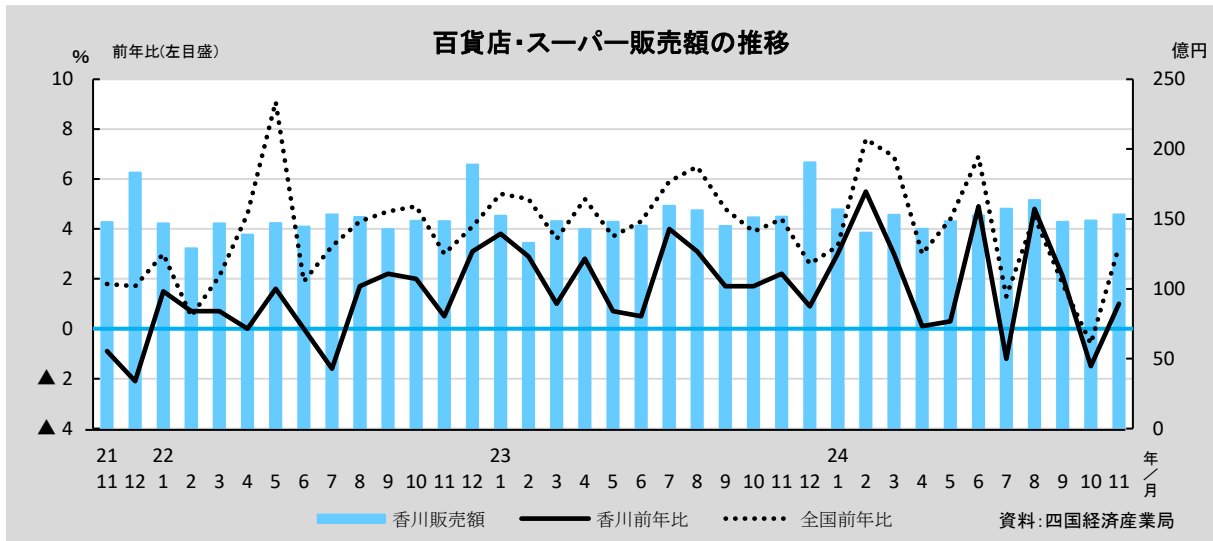
景気の現状をみると、10月のCI一致指数は101.2（前月比+2.2ポイント）と2カ月連続で上昇。CI先行指数は97.6（同+2.3ポイント）と3カ月ぶりに上昇。CI遅行指数は94.2（同▲0.2ポイント）と2カ月連続で下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、雇用保険受給者実人員、所定外労働時間指数等が上昇に寄与し、前月から2.2ポイント上昇となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用景気指標	1 新規求人数	0.73	1 雇用保険受給者実人員	1.34	1 常用雇用指数	0.21
	2 乗用車新車登録台数	0.35	2 有効求人倍率	0.28	2 有効求職者数	▲ 0.35
	3 鉱工業在庫率指数	0.78	3 所定外労働時間指数	1.12	3 消費者物価指数	▲ 0.79
	4 新設住宅着工戸数	0.95	4 鉱工業生産指数	▲ 0.56	4 家計消費支出	▲ 0.49
	5 金融機関貸出残高	0.00	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.43	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.26
	6 消費者態度指数	▲ 0.34	6 建築着工床面積	0.86	6 法人事業税調定額	1.24
			7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.47	7 第3次産業活動指数	0.39

●百貨店・スーパー販売額

2カ月ぶり増加 ↑

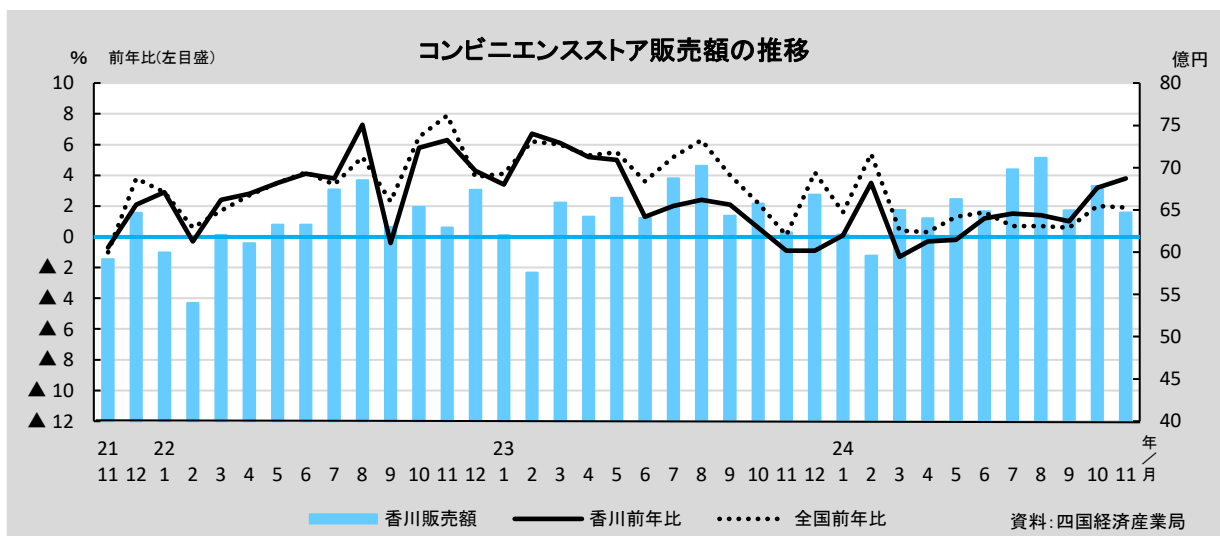


2024/11月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	125,016	63,628	1,114,985	2,743	5,071	69,315	150,950	463	1,532,171
前年同月比(%)	1.8	4.0	0.7	▲ 3.9	▲ 8.8	2.0	1.8	▲ 6.1	1.0

11月の百貨店・スーパー全店(83店)の販売額は153.2億円で、前年同月比+1.0%と2カ月ぶりに増加した。「飲食料品」は生鮮野菜や米の価格上昇が売上を押し上げる傾向がみられ、同+0.7%と堅調に推移した。「身の回り品」はインポートバッグやアクセサリなどに動きがみられ同+4.0%と増加した。

●コンビニエンスストア販売額

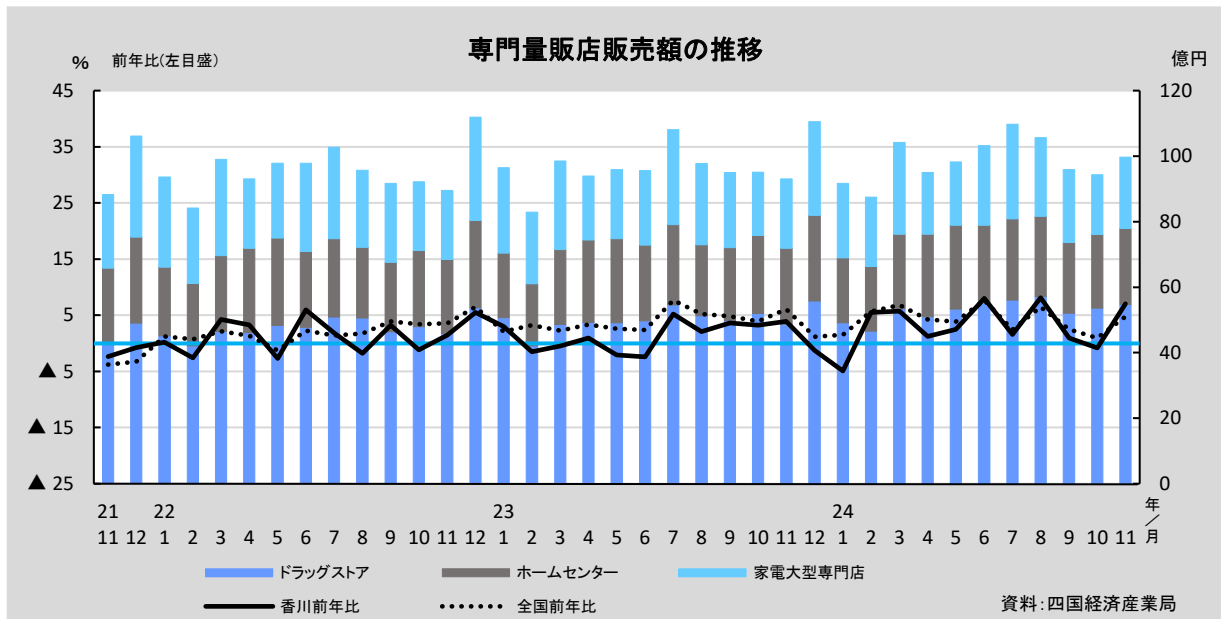
6カ月連続増加 ↑



11月のコンビニエンスストア全店(406店)の販売額は64.7億円で、前年同月比+3.8%となり、6カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

2 カ月ぶり増加

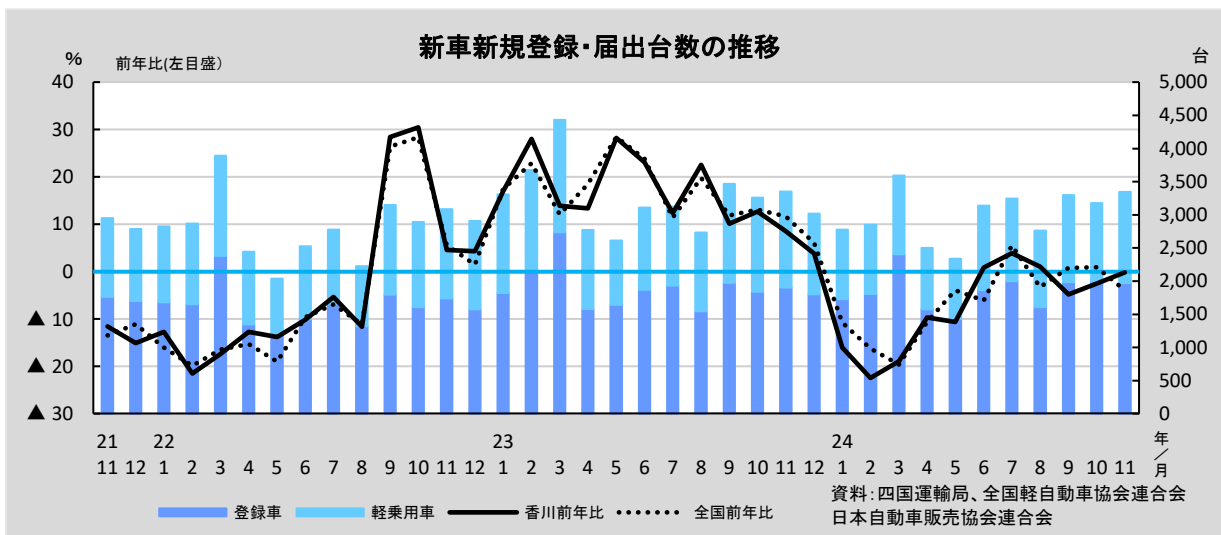


11月の専門量販店全店（229店）の販売額99.7億円で、前年同月比+7.1%と2カ月ぶりに増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（27店）の販売額は、21.8億円で前年同月比+2.6%となった。**ドラッグストア**（155店）の販売額は、54.8億円で同+12.4%となった。**ホームセンター**（47店）の販売額は、23.1億円で横ばいとなった。

●新車新規登録・届出台数

3 カ月連続減少



11月の乗用車（登録車<sup>※</sup>・軽）新車新規登録・届出台数は3,346台で、前年同月比▲0.1%と3カ月連続で減少した。<sup>※</sup>香川県の乗用車（登録車）は、普通貨物車・小型貨物車、その他を含む。

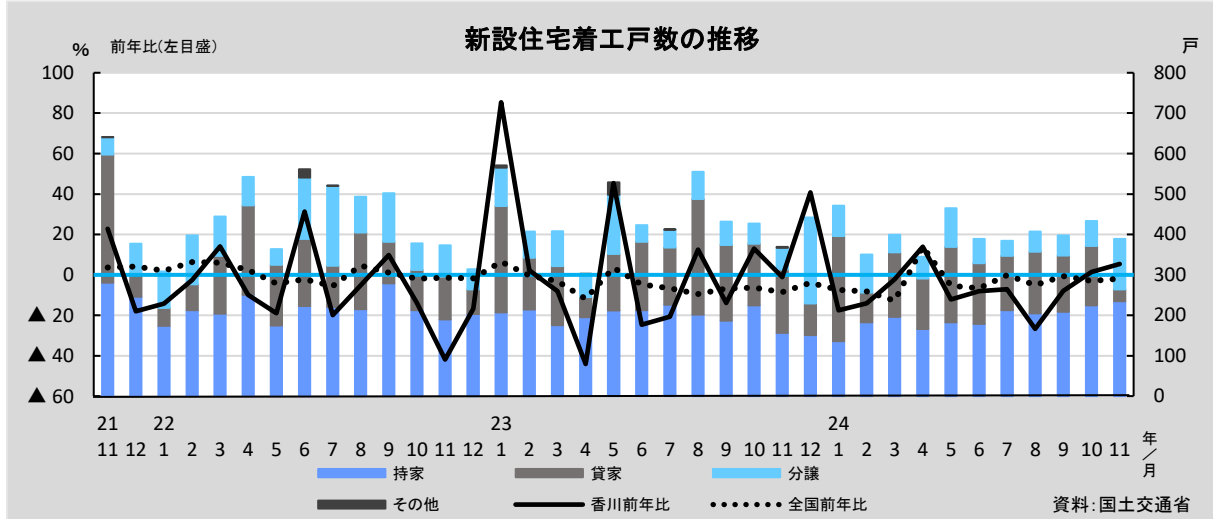
車種別にみると、登録車は前年同月比+3.5%、軽乗用車は同▲4.9%となった。

## 住宅投資

低調に推移している

### ●新設住宅着工

2 カ月連続増加 ↑



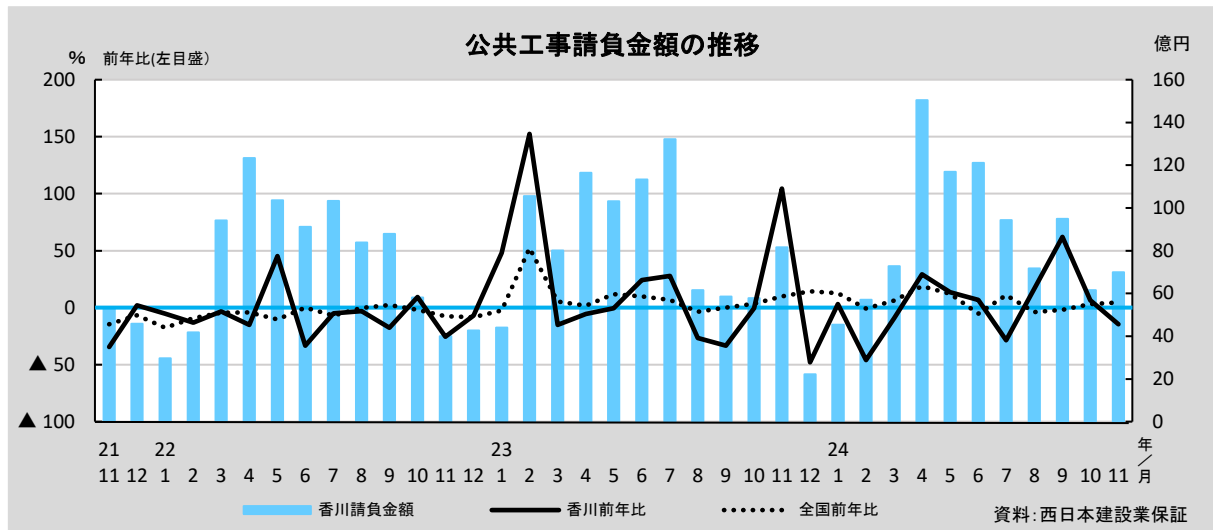
11月の新設住宅着工戸数は389戸で、前年同月比+5.4%と2カ月連続で増加しました。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比+49.7%、**貸家**で同▲81.4%、**分譲住宅**で同+131.5%となった。

## 公共投資

持ち直している

### ●公共工事請負金額

4 カ月ぶり減少 ↓



11月の公共工事請負金額は69.9億円で、前年同月比▲14.4%と4カ月ぶりに減少しました。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲92.0%、**県**で同▲60.8%、**市町**で同+152.9%となった。

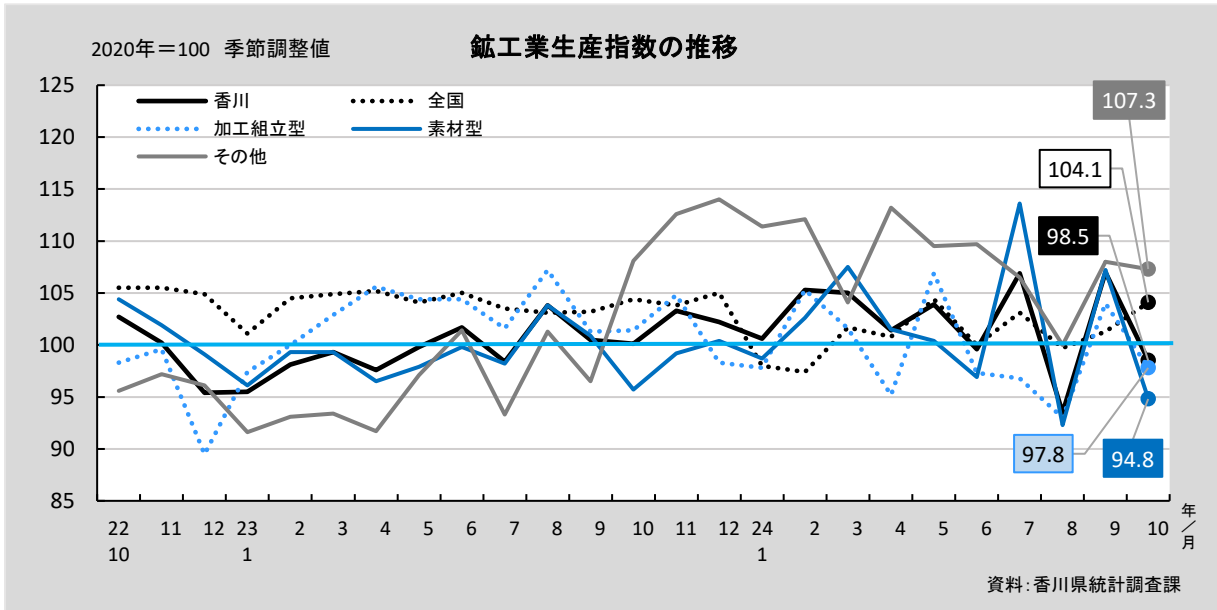
2024.4月～11月の累計では前年同期比7.7%増加している。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2 カ月ぶり低下 ↓



10月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は98.5（前月107.0）となり、2カ月ぶりに低下した。

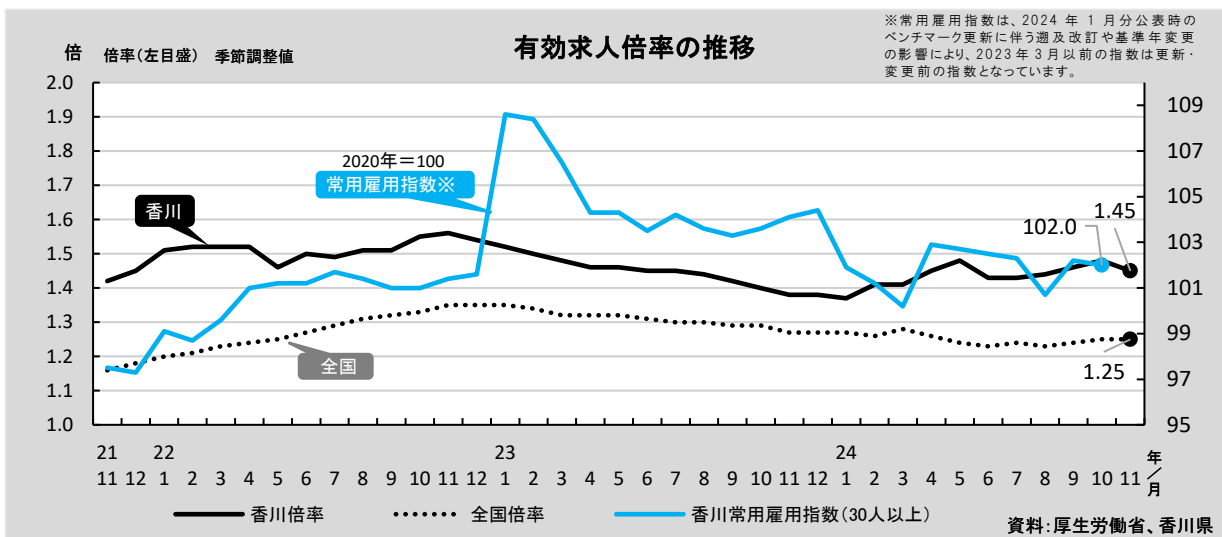
業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は前月比▲32.2%、加工組立型の輸送機械工業（船用ディーゼル機関など）は同▲11.5%と低下した。一方、素材型の金属製品工業（橋りょうなど）は同+2.5%と上昇した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

5 カ月ぶり減少 ↓



11月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.45倍（全国6位）で前月より0.03ポイント低下した。

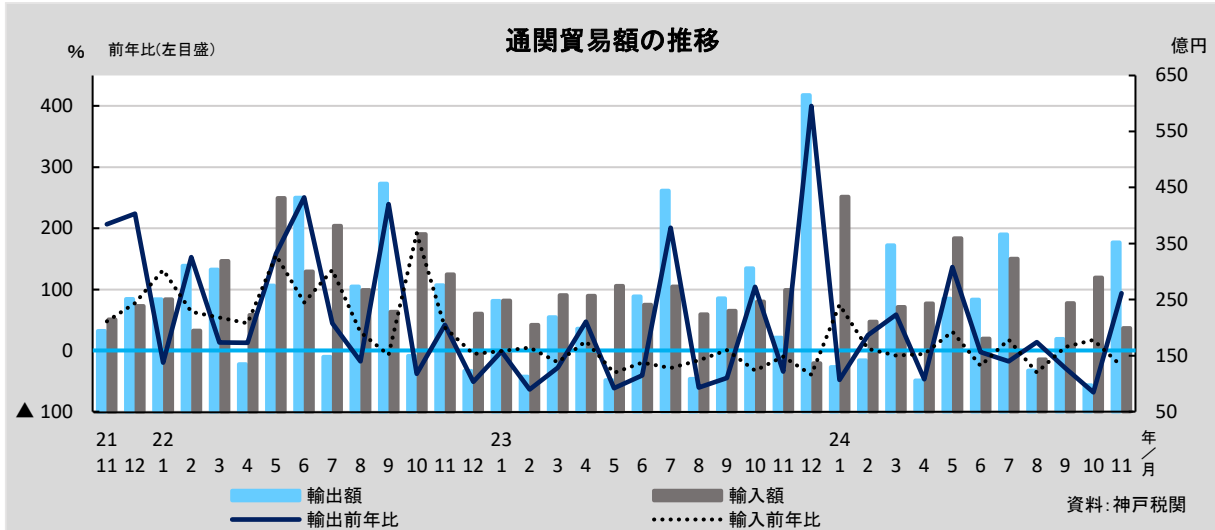
新規求人（原数値：前年同月比）は、医療・福祉、サービス業（他に分類されないもの）、教育・学習支援業、等で増加となり、全体で+4.3%と2カ月連続で増加した。

10月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、102.0となり、前年同月比は10カ月連続で減少した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.27
事務的職業	0.64
販売の職業	2.48
サービスの職業	3.38
生産工程の職業	2.67
輸送・機械運転の職業	2.49
建設・採掘の職業	5.89
運搬・清掃・包装等の職業	1.21

## 貿易

輸出は増加、輸入は減少している



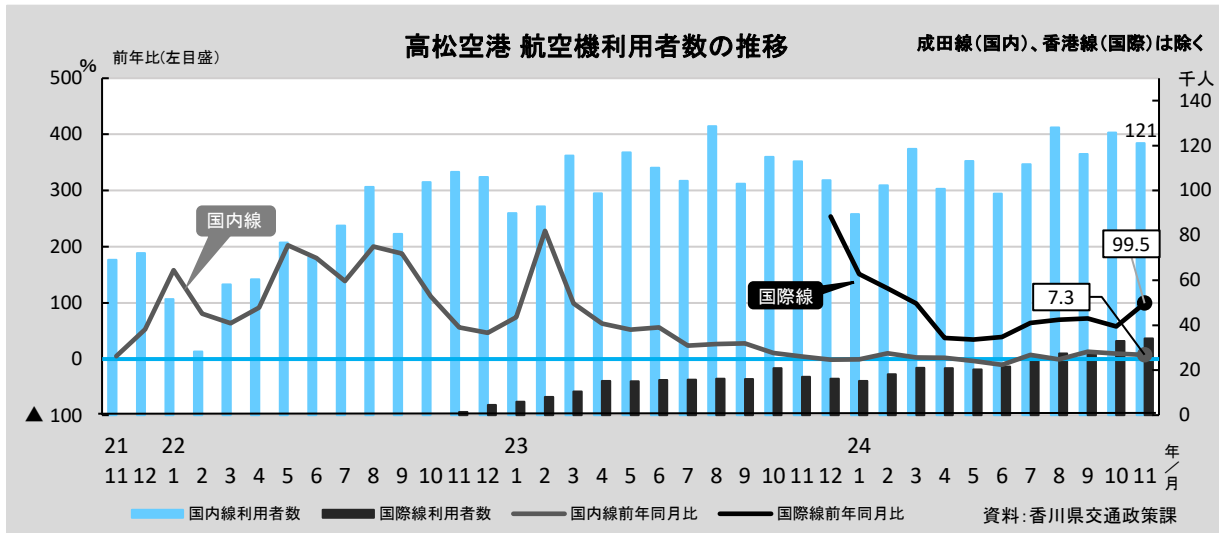
11月の輸出額は前年同月比+93.5%の352.2億円、輸入額は同▲25.4%の199.1億円となり、差し引き153.1億円の出超となった。

輸出は、貨物船輸出額が前年同月比+222.8%の270億円となり、増加に寄与した。輸入は、前年同月48億円だった液化天然ガス輸入額がゼロとなり減少に寄与した。

## 交通

国内線は3カ月連続増加、国際線は13カ月連続増加

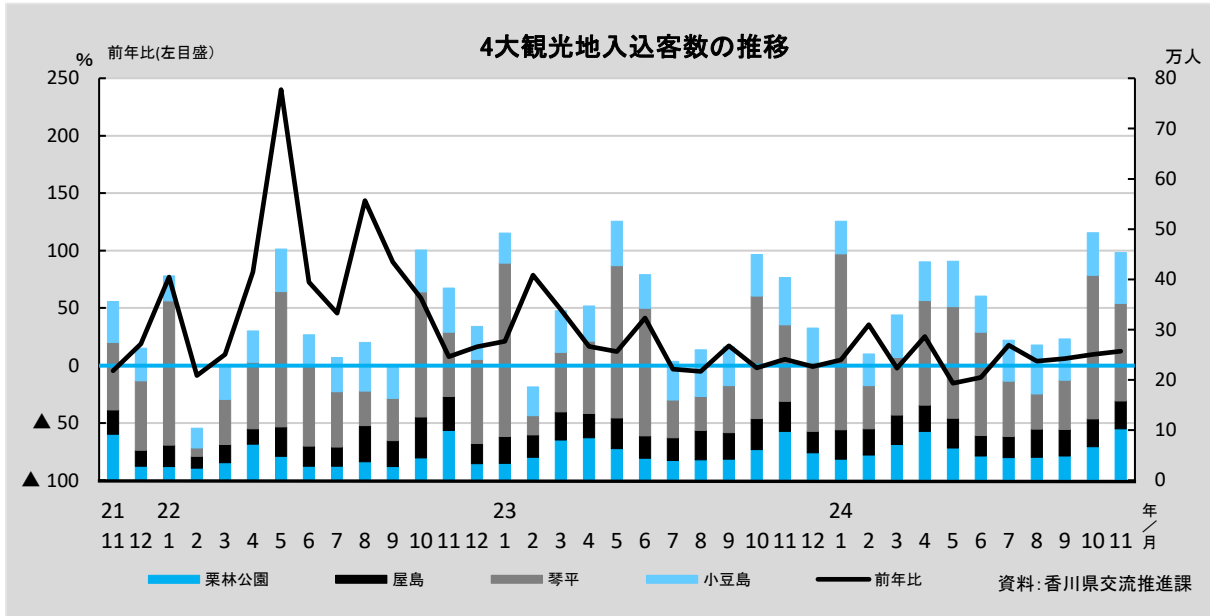
### ●高松空港旅客輸送実績



11月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が121,143人(前年同月比+7.3%)となり、3カ月連続で増加した。羽田線は112,755人(同+7.7%)、那覇線は8,388人(同+2.5%)となった。

国際線は、ソウル線22,227人(同+96.4%)、上海線5,240人、台北線6,652人(同+14.9%)で合計34,119人(同+99.5%)と13カ月連続で増加した。

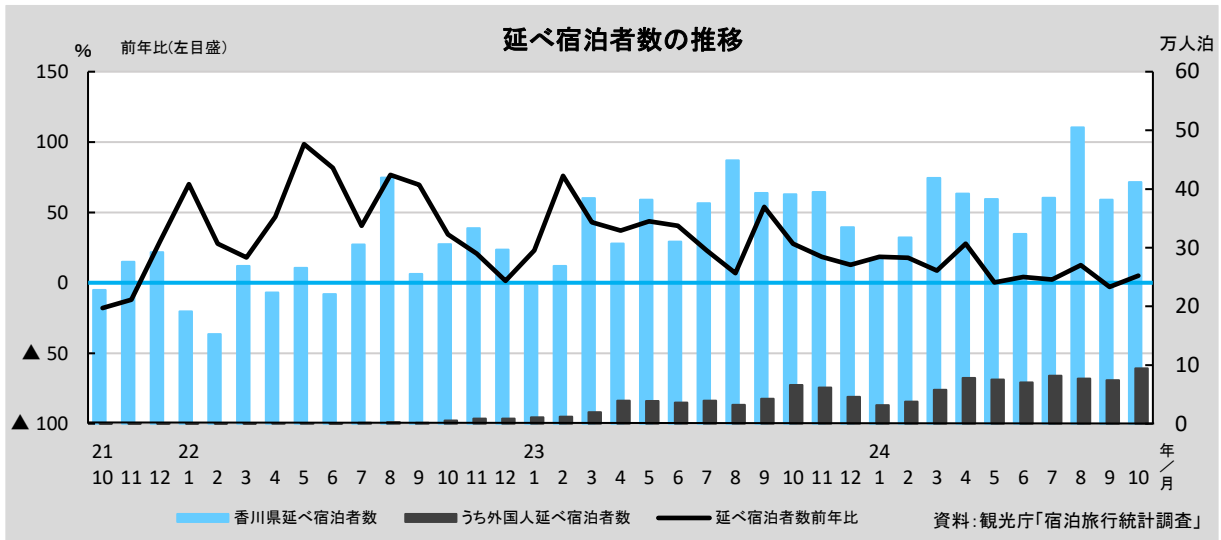
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
11月(人)	前年同月比	102,775	5.8%	55,239	▲8.5%	194,000	27.6%	101,389	8.1%	453,403	12.4%
1~11月累計(人)		683,250	8.1%	583,080	▲0.7%	1,945,000	6.0%	899,140	6.0%	4,110,470	5.3%

11月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+12.4%と5カ月連続で増加した。栗林公園は前年同月比+5.8%、琴平は同+27.6%、小豆島は同+8.1%と増加したが、屋島は同▲8.5%と減少した。1~11月の累計では前年同期比+5.3%となった。

●延べ宿泊者数



10月の延べ宿泊者数は411,500人で、前年同月比+5.2%と2カ月ぶりに増加した。うち、外国人延べ宿泊者数94,500人となり、前年同月比+42.9%と27カ月連続で増加した。